

事務事業実績測定調書

R4調書番号 706

事務事業名称	政務活動費交付事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議会総務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法 枚方市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例 枚方市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	政務活動費の交付を受ける議員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	議員の調査研究や自己研鑽の機会の確保が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	議員が政務活動費を活用し、先進事例の視察や専門的な研修の受講などの調査研究を行うことにより、議員としての資質の向上が図られ、もって本会議や委員会等における審議等が活性化し、市政の発展につながっている状態。				
事業概要	政務活動費の交付申請を行った市議会議員に対し、四半期毎に3カ月分の政務活動費を規則で定めた交付日に交付する。 また、交付を行った政務活動費については、年度末において各議員から提出された書類を確認して交付額を確定するとともに、その収支に係る全ての書類について、事務局でPDF化を行い、ホームページ上で				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						市の施策等の理解が深まり、議会における議員活動が円滑に行える。				政務活動費の交付申請を行った市議会議員に対し、政務活動費を交付する。				
指標設定	指標説明					収支報告書等の提出件数				政務活動費交付額				
	指標種類					単位	件	単位	円					
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					32	30	30	32	26,880,000	25,200,000	25,200,000	26,880,000
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.59
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,705	4,636	4,609		
	会計年度任用職員	310	339	217		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,015	4,975	4,826		
	物件費計	18,235	20,028	18,834	25,200	74.7%
	歳出計	23,250	25,003	23,660		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	18,235	20,028	18,834	25,200	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>政務活動費に係る書類確認事務については、正確な執行を要するため課内の書類チェックを強化していることから事務量が增大している。事務内容について、見直せる部分を整理し事務の効率化を図り、確実な事務執行を進めていく。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>政務活動費の収支に係る書類については、令和元年度5月～3月分より、収支報告書に加え、領収書、各種活動（視察・研修等）報告書など収支報告に係る資料すべてをホームページに掲載し用途の透明性向上を図っている。今後も、市民の信頼に応えるため政務活動費の適正な執行と用途の透明性向上を図る。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 707

事務事業名称	正副議長秘書事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議会総務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1947(S22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市議会事務局処務規程				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	議長・副議長			
	サブターゲット	事務局職員			
	ターゲットが抱える課題	正副議長の公務が円滑に行われるよう、正確な秘書業務が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	正副議長が公務を円滑に行うことが出来ている状態。				
事業概要	正副議長の公務が重複しないよう、且つ円滑に公務遂行ができるよう日程の調整・官理を行う。また正副議長が諸会議等の出席の際に随行し、相手方と事務レベルでの情報交換等を行い、正副議長への参考資料を作成する。 また、市議会関連組織、団体への負担金交付により、市議会相互の緊密な連携を保ち、また調査研究を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,490	10,293	10,546		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,490	10,293	10,546		
	物件費計	5,836	2,275	2,276	4,406	51.7%
	歳出計	15,326	12,384	12,822		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,836	2,275	2,276	4,406	

5. 総括的分析

総括的分析	正副議長が円滑に公務活動を行えるよう迅速かつ的確に日程の調整・管理を行った。また、正副議長の公務に随行する際は、相手方と事務レベルでの調整を十分に行い公務を遂行した。各負担金の交付についても適正に支出を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	随行記録を共有し活用することでスムーズな随行業務を行う。また、休日の公務に伴う随行業務を主に管理職対応することで時間外勤務の縮減に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 952

事務事業名称	議会総務課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市議会事務局			課	議会総務課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	議会総務課職員			
	サブターゲット	全ての議員			
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課員が、それぞれ担当する事務を適正に把握し、正確かつ迅速に執行している状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.38
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	19,014	18,593		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	19,014	18,593		
	物件費計	-	1,108	1,647	2,596	63.4%
	歳出計	-	19,454	20,240		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	1,108	1,647	2,596	

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市議会の機能を十分に発揮するため、定期的なOJTで職員の議会事務能力の向上を図るとともに、研修等で知識・技術の習得に努めるなど、自治体職員としての研鑽に取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各業務を適正かつ円滑に遂行できるよう取り組みを進める。また、情報収集や連絡調整等を積極的に行うとともに、外部研修を含む各種職員研修を通じて得た知識や技術を課内で共有し、自治体職員としての研鑽に励む。